

モニタリング結果報告書

平成15年8月

政策体系	番 号				
基本目標	1	安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること			
施策目標	5	感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること			
	I	結核等感染症の発生・まん延の防止を図ること			
担当部局・課	主管課	健康局結核感染症課			
	関係課				
実績目標 1	都市部におけるDOTS対策の実施を図ること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
住所不定者に代表される社会的・経済的背景から治療を中断し、社会の中で感染源となる者の存在は、近年の結核の増加要因の1つとなっている。また、このような中途半端な治療は、多剤耐性結核を引き起こす危険性も大きい。					
この問題は、特に都市部で大きく、罹患率の高い地域が存在していることから、有症状健診の実施、直接服薬確認による短期化学療法などからなるDOTS対策を実施し、治療完了率の向上と罹患率の低下を目指す。(DOTS：WHOが推奨する、結核患者が服薬を忘れないよう医療従事者の前で内服する治療法等からなる結核対策の総称)					
(評価指標) 新規結核登録患者数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	41,033	43,818	39,384	35,489	—
(評価指標) 新規塗抹陽性患者数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	13,405	14,482	13,220	12,656	—
(評価指標) 小児（14 歳以下）の新規結核登録患者数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	274	280	220	195	—
(備 考)					
評価指標は、結核発生動向調査に基づいており、平成14年度は9月下旬公表予定。(非定型抗酸菌陽性者数を除く。)					
実績目標 2	若年層の性感染症対策を図ること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
性感染症は若年層を中心に増加傾向にあるため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づく「性感染症に関する特定感染症予防指針」を踏まえ、性感染症に関する正しい知識の普及、保健所における匿名・無料の検査の実施などの対策を実施する。					
(評価指標) 淋菌感染症報告数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	11,847	16,926	20,471	21,805
(評価指標) 性器クラミジア報告数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4

	—	25,033	37,028	40,309	43,524
(評価指標) 性器ヘルペス報告数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	6,566	8,946	9,158	9,598
(評価指標) 尖形コンジローム報告数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	3,190	4,553	5,123	5,666
(評価指標) 梅毒報告数	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	735	749	567	561
(備 考)					
評価指標は、感染症法（平成１１年４月施行）に基づく「感染症発生動向調査」による届出医療機関からの報告数であり、全数ではない。（ただし、梅毒は全数）					
なお、平成１１年は４月から１２月までの数字である。					
実績目標 3	法に基づく予防接種の実施を推進すること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
国民の健康に大きな影響を及ぼす感染症の発生およびまん延を防止するため、予防接種法に基づく予防接種について、予防接種に関する正しい知識の普及、予防接種従事者の資質の向上、健康被害に対する救済措置などを実施する。					
(評価指標) ジフテリア報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	2	1	0	0
	—	0	1	0	0
(評価指標) 百日せき報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	2,653	3,804	1,760	1,487
	—	2	1	0	0
(評価指標) 急性灰白髄炎報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	0	1	0	0
	—	0	0	0	0
(評価指標) 麻しん報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	5,958	22,978	34,743	13,030
	—	29	18	21	9
(評価指標) 風しん報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	2,972	3,123	2,561	2,985
	—	0	0	1	1
(評価指標) 日本脳炎報告数（上段） 死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	5	7	5	8
	—	0	1	0	0
(評価指標) 破傷風報告数（上段） （下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	66	91	80	105
	—	10	10	12	5
(評価指標) インフルエンザ報告数（上段）、死亡数（下段）	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4
	—	—	769,964	305,441	745,360
	—	—	575	214	303
(備 考)					

評価指標は、感染症法（平成１１年４月施行）に基づく「感染症発生動向調査」による。

百日せき、麻しん、風しん、インフルエンザの報告数については、届出医療機関からの報告数であり、全数ではない。

なお、平成１１年は４月から１２月までの数字である。